

テレメーター・テレコントロールの高度利用に関する調査検討会

開催趣旨

北海道の主要産業である農林水産業は、北海道ならではの広大な面積を有するが故の課題や担い手不足、高齢化、また、国際競争力の激化など多くの課題を抱えている。これらの解決のためにICTを有効利用した産業の効率化と高度化に向けた取組が進められており、各種センサーやカメラ画像により収集したデータの活用や様々な機器の遠隔制御等、カバーエリアが広く、低価格で導入できる小型・軽量のテレメーター・テレコントロールの実現が期待されている。

今日、テレメーター・テレコントロールは、無線局免許が必要なものと無線局免許を要しないものがある。前者は、主にダムや河川管理等の業務用として古くから利用されているが、情報量が少ない狭帯域のものがほとんどで、広帯域なものは、一定の構内での使用に限るなど厳しく制限され、工業用計測等の分野以外ではあまり利用されていない。一方、後者は、近年、小電力のシステムやWi-Fiなどを利用し、身近なシステムとして国民生活の多様な場面で狭帯域及び広帯域で普及してきているが、カバーエリアを広く利用する場合等は、複数の無線機器を設置しなければならないため、費用が嵩むことにより利用者の負担となっている。

このようなことから、様々なフィールドで活用されているテレメーター・テレコントロールについて、現状と課題を明らかにした上で、陸上及び上空での高度利用のための技術的検証を交えた調査検討を行い、農林水産業での活用はもとより、非常災害時での活用を含めた高度利用方法を提言し、電波の有効利用の促進に資することとする。